**第77回鎌倉市展　出品申込書**　　 美 ・ 写 ・ 書 作品番号

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部　門 | □美術  □平面作品（内容：　　　　 ）（素材：　　　　 ）  □立体作品（内容：　　　　 ）（素材：　　　　 ）  記入例:（内容：彫刻）（素材：ブロンズ、ガラス、木など） | □写真  □デジタルアート  □上記以外 | □書道 |
| 審査  希望 | （美術・写真申込者のみ）　□希望する　　　　　□希望しない | |  |
| 氏　名 | フリガナ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＴＥＬ　　 　 （ ）  昼間の連絡先 　 （　　　） | | |
| 住　所 | 〒 | | |
| 作品名 | 【撮影地（写真）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 | | |
| 作品の  大きさ等 | □美術  　平面作品 □紙使用 □キャンバス使用  　　　　　　縦　　　　　cm×横　　　　　cm（額を含む）　　　号  立体作品　幅　　　　　cm×奥行き　　　　　cm×高さ　　　　　cm  □写真　縦　　　　cm×横　　　　cm（額を含む）（□半切 □全紙 □A3 □A3ノビ）  組写真の場合　　　枚  □書道　縦　　　　cm×横　　　　cm（表具・額を含む）（□軸 □額） | | |

※記入漏れのないように注意してください。申込後の記載事項訂正はできません。

鎌倉市民文化祭企画運営委員会

【応募上の注意】

・作品は受賞歴のないものに限ります。

・美術部門：12歳以上の方（写真・書道部門は年齢不問）

・応募後の内容の変更はできません。

　・美術展に出品される方は、作品の内容（日本画・洋画・立体作品等）を御記入ください。

　・種目、大きさ等が規格外のものは受け付けられません。

　・額装された作品の場合、大きさは額装済の大きさを御記入ください。

　・作品名に「　　」（かぎカッコ）はつけないでください。ついている場合は外させていただきます。

・氏名や作品名などの表記については、常用漢字を使用させていただきます。

【規　格】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **美　術** | 絵画  （ジャンル・画材自由） | 立体作品  （彫刻・陶芸・染織・その他工芸等） |
| 作品の  大きさ | 【紙使用】  作品：A3（297㎜×420㎜）以上  F40（1,000㎜×8,030㎜）以下  展示（額装）：最大110㎝×90㎝以内、マット幅10㎝以内  【キャンバス使用】※原則額装  作品：F10（530㎜×455㎜）以上  F50（1167㎜×909㎜）以下  展示（額装）：最大（126㎝×100㎝）以内。  額幅は９㎝以内または仮額とする。  【共通】全てのジャンルで８Kg以内（額装含む）とする。 | 【工芸作品】  展示が幅100cm以内に収まるもの  【彫刻作品】  40cm四方以内に収まるもの |
| その他 | ・美術部門：12歳以上の方  ・額装は、紙素材の作品は表面をアクリル板で保護し、ガラスは不可。また、その他の素材の作品はガラス・アクリル共に不可。  ・額やキャンバス、パネルの裏面に展示用のひも（伸び縮みしないもの）を取り付け、ひもはピンと張り、結び目は必ず中心をさけて結ぶこと。  ・額装しない場合は、必ずキャンバス、パネル側面にマスキングテープを貼ること。  ・作品以外の附帯品を伴わないこと。  ・立体作品については、危険物（鋭利な金属、強い匂いを放つもの、引火しやすいもの等）でない限り素材の制限はないものとするが、台に設置する場合や壁に掛ける場合のいずれにおいても安全に展示できるように工夫すること。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| **写　真** | ・モノクロまたはカラー  ・印画紙の大きさは半切以上全紙、またはＡ３・Ａ３ノビとする。  ・組写真は半切またはＡ３・Ａ３ノビとする、１組３枚以内  ・額またはパネル張り、前面にガラスやアクリル板を使用しないこと。  ・額の裏には丈夫なひもを取り付け、ひもはピンと張り、結び目は必ず中心をさけて結ぶこと  ・合成、加工を含む、過度な画像処理を行わないこと。その程度については、審査の段階で判断する。ただし、デジタルアート作品の場合は、この項を適用しない。 |
| **書　道** | ・出来上がり寸法  （縦物）縦242cm×横90cm以内  （横物）縦90cm×横182cm以内  ・仕様は条幅（本表装）・枠張り・額装  ・雲盤・色紙・短冊等は不可  ・表装（額装）は市民文化祭市展にふさわしい体裁となるよう御配慮ください。  ・表装（額装）の際には、作品が剥がれたり落下したりしないよう処理すること  ・額の裏には丈夫なひもを取り付け、ひもはピンと張り、結び目は必ず中心をさけて結ぶこと |